

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030776403

病院施設番号： 030776

臨床研修病院の名称： 泉大津急性期メディカルセンター

臨床研修病院群番号： 0307763

臨床研修病院群名： 泉大津急性期メディカルセンター臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	泉大津急性期メディカルセンター臨床研修プログラム
2. 研修プログラムの特色	本プログラムにおける総合診療方式は、現在の地域の医療需要に対応するプライマリ・ケアの能力に優れた医師を育成する研修体制であり、そのために最低限研修すべき科として必修診療科を設けている。 本プログラムでは、研修医が将来、専門でない分野における臨床経験が不十分なまま医師となるのではなく、専門分野の疾患の治療とともに、医師として患者、その家族が抱える様々な身体的、心理的、社会的問題を認識・判断し、問題解決を図ることができるような能力、いわゆる患者を全体的に診る能力を身につけることを目指している。 また、これらの診療科をそれぞれ研修する中で、チーム医療のコーディネーターとしての機能を発揮できる能力や、医師としてのコミュニケーション能力を生涯にわたり向上させうる基盤を獲得することを目指している。 これらの目標の到達度は、厚生労働省に定める卒後臨床研修目標と各科の到達目標に照らし判定される。 当プログラムの研修は、厚生労働省の定める「新医師臨床研修制度」に基づき、内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急科、地域医療での研修を必修科目として、医師少数区域における地域医療研修は雲南市立病院で12週（3ヶ月）以上行う。基本研修および必修研修科目以外の期間は、研修医自らの希望もしくは到達目標の到達度に応じて、選択科目の研修を受ける。研修期間は、原則として2年間とする。
3. 臨床研修の目標の概要	社会医療法人生長会で働く職員全員の共有財産である‘AIF フィロソフィー’に基づき、当院の医療サービスを利用される人びと、そのご家族、そして地域社会とのパートナーシップを築きながら、有機的に働きうる研修医を育成することを目的とする。 よって、当院で研修を受けようとする研修医は、将来の専門性に関わらず、2年間の総合診療研修に専念し、プライマリ・ケアに基本的な診療能力を身につけるとともに、院内のチーム医療、救急医療の現場や地域の医療・福祉機関との連携などの経験を通じて、医師としての全人格教育を目指し、豊かな人間性を涵養することを目指す。
4. 研修期間	（ 2 ） 年 （原則として、「2年」と記入してください。）
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 可能。

5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）			
		* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030776	泉大津急性期メディカルセンター	24週	8週
	救急部門	030776	泉大津急性期メディカルセンター	12週	
	地域医療	031090	雲南市立病院	12週	一般外来 3週 在宅診療 3週
	外科	030776	泉大津急性期メディカルセンター	12週	0週
	小児科	030777 126884 030521 030867	社会医療法人人生長会 ペルランド総合病院 社会医療法人人生長会 阪南市民病院 医療法人徳洲会 和泉市立総合医療センター 泉大津市立病院	4週	0週
	産婦人科	030776 030867	泉大津急性期メディカルセンター 泉大津市立病院	4週	
	精神科	031767 030524 031774 031773	医療法人杏和会 阪南病院 医療法人利田会 久米田病院 医療法人貴生会 和泉中央病院 医療法人永和会 こころあ病院	4週	
	一般外来	030776	泉大津急性期メディカルセンター	5週	
病院で 定めた 必修 科目					週
					週
					週
					週

	選択科目	選択科 (備考欄参照)	030776	社会医療法人生長会 泉大津急性期 メディカルセンター 医療法人杏和会 阪南病院 医療法人利田会 久米田病院 医療法人貴生会 和泉中央病院 医療法人永和会 こころあ病院 社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 医療法人徳洲会 和泉市立総合医療センター 泉大津市立病院 社会医療法人生長会 阪南市民病院 高野町立高野山総合診療所 医療法人社団健育会 西伊豆健育会病院 雲南市立病院	<u>24 週</u>	<u>0 週</u>
--	------	----------------------------	--------	--	-------------	------------

備考：地域研修病院での研修期間・・・最低 12 週 ※原則として、12 週以上行うこと。
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門
の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 0 回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・0 週
一般外来の研修を行う診療科・・・総合診療科
※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

内科・外科・小児科・産婦人科・精神科・救急科・地域医療の 7 科目を必修とし、また麻酔科については 2 年時の自由選択枠にて 2 ヶ月（8 週）以上研修するよう推奨している。地域医療は雲南市立病院で研修を 3 ヶ月（12 週以上）行う。

当院では週単位ではなく月単位での研修を行う。

■1 年目ローテーションについて

必修科の内科〈総合診療科・循環器内科・消化器内科・血液内科・糖尿病内科の中から 2 診療科を 3 ヶ月ずつもしくは 3 診療科を 2 ヶ月ずつ選択〉を 6 ヶ月（24 週以上）、救急を 3 ヶ月（12 週以上）と必修外科は一般外科を 2 ヶ月（8 週）とし、選択枠として 1 ヶ月（4 週）は外科系診療科〈外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・泌尿器科〉の中から選択しローテーションすることを必修にしている。

■2 年目ローテーションについて

必修科目である地域医療は 3 ヶ月（12 週以上）、小児科及び精神科も各 1 ヶ月（4 週以上）ずつ協力型もしくは協力施設にて研修を行う。産婦人科は 1 ヶ月（4 週以上）泉大津市立周産期小児医療センターで研修を行う。

その他 6 ヶ月（24 週）は自由選択とし、研修医自らが将来を見据え、希望もしくは到達目標の到達度に応じて、選択科目の研修をうける。選択科目研修期間にて研修該当診療科および研修実施施設は以下のとおりである。当院にて研修を実施する診療科〈総合診療科・循環器内科・消化器内科・血液内科・糖尿病内科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・救急・婦人科・麻酔科・放射線科・形成外科・病理部・皮膚科〉協力型病院もしくは協力施設にて研修を実施する診療科〈精神科・小児科・地域医療・産婦人科〉但し、地域医療研修以外の協力施設にて研修できる上限期間は、3 ヶ月間とする。■CPC は泉大津急性期メディカルセンターにて実施する。

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

6. 研修スケジュール（一年次・ <u>二年次</u> いずれかに○）										プログラム番号									
臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊ 1																(No. 1)			
病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 ＊ 2	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週					
泉大津急性期メディカルセンター	産婦人科	1						1	1		1		1						
	選択科	8	6	5	5	6	5	6	5	6	5	6	8						
泉大津市立病院	産婦人科		1	1	1		1												
	小児科				1		1												
社会医療法人生長会ベルランド総合病院	小児科		1	1								1							
医療法人徳洲会和泉市立総合医療センター	小児科					1						1							
社会医療法人生長会阪南市民病院	小児科			1					1										
医療法人利田会久米田病院	精神科																		
医療法人杏和会阪南病院	精神科					1		1			1	1							
医療法人貴生会和泉中央病院	精神科									1	1								
医療法人永和会こころあ病院	精神科				1		1			1									
医療法人社団健育会西伊豆	地域医療						1												

* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別業に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。